

資料4

令和元年11月6日（水）
第8回実務者検討委員会
国立国会図書館説明資料

ジャパンサーチの連携拡大に向けて

国立国会図書館

連携状況 (2019年10月18日現在)

14連携機関 **50**データベース **メタデータ約1,800万件**

分野	連携機関	データベース名
書籍等	国立国会図書館	「国立国会図書館サーチ」から、3件のデータベース
公文書	国立公文書館	「国立公文書館デジタルアーカイブ」
文化財	文化庁	「文化遺産オンライン」から、国指定文化財等データベース
	国立文化財機構	「ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム」
美術	国立美術館	「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」
		「アートコモンズ」
	日本写真保存センター	「写真原板データベース」
メディア芸術	映像産業振興機構	「Japan Content Catalog」から、2件のデータベース
舞台芸術	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	「演劇情報総合データベース」から、2件のデータベース
自然史・理工学	国立科学博物館	「サイエンスミュージアムネット S-Net」
		「魚類写真資料データベース」
人文学	人間文化研究機構	「人間文化研究機構統合検索システム nihuINT」から、30件のデータベース
	立命館大学アート・リサーチセンター	「ARC浮世絵ポータルデータベース」「ARC古典籍ポータルデータベース」
放送番組	放送番組センター	「放送ライブラリー公開番組データベース」※ドラマのデータ
	日本放送協会	「動画で見るニッポンみちしる」
データセット	内閣官房IT総合戦略室・総務省	「データカタログサイト」

連携調整状況（2019年10月18日現在）

	機関数*	データベース数
連携調整済・データ投入準備中 ※文書取り交わし済	2	18
連携調整中	24	29
これまでに連携候補に挙げた機関・データベース	36	40
第6回有志会合（7/19）以降、問合せのあった新規連携候補	6	6

*つなぎ役として既に連携している機関を含む。

● 現在の連携方針

- 分野・地域の「つなぎ役」を通じた連携を原則とする
- ただし、「つなぎ役」が明確でない分野・地域では、以下の条件に当てはまるアーカイブ機関との直接連携を検討
 - 国の機関であり、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
 - 公益に資する目的のため、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしているアーカイブ機関
 - 唯一性・独自性の高いコンテンツ群を塊として扱う分野・地域を代表するアーカイブ機関
 - その他（実務者検討委員会において適当と認められるアーカイブ機関）

（出典）「第二次中間取りまとめ」（実務者検討委員会，平成31年4月）p. 33
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/jitumusya/2018/torimatome2.pdf

連携拡大に向けた課題

● 地方のアーカイブ機関との連携の優先順位・進め方

- 都道府県のつなぎ役がいるところから？市町村のつなぎ役との連携はいつから？
- つなぎ役不在の場合に、どのように連携を進めていくべきか。
 - 都道府県レベルの公文書館、美術館
 - 都道府県レベルのオープンデータセット
 - 市町村レベル、小規模な博物館・美術館

● つなぎ役とその役割の明確化に向けて

- ジャパンサーチと連携する「つなぎ役」の、必要最小限の役割とは？

● コレクションポリシー作成の必要性

- 国内所蔵の海外に関するコンテンツ
- 海外機関所蔵の日本関係コンテンツ